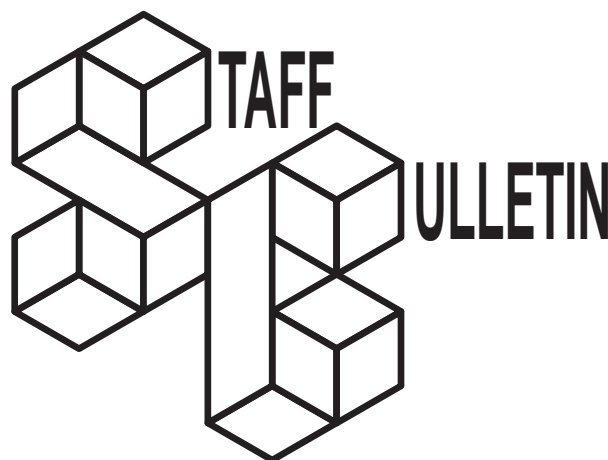


UNIVERSITY OF TSUKUBA

08 2001

筑波大学広報・公開室編集
企画調査室発行
平成13年4月18日
通巻1008号
速報つくば



平成 13 年度入学式



学群・理療科教員養成施設の入学式で式辞を述べる北原学長

平成 13 年度の学群・理療科教員養成施設の入学式が 4 月 9 日(月)10:00 から、大学院入学式(夜間大学院を含む)が同日 14:00 から大学会館講堂で行われました。また、医療技術短期大学部は 4 月 10 日(火)10:30 から大学会館ホールで行われました。

入学者は、学群 2,002 人、理療科教員養成施設 24 人、大学院博士課程 670 人(3 年次編入学 106 人、夜間大学院博士 21 人を含む)、大学院修士課程 1,032 人(夜間大学院修士 117 人を含む)、医療技術短期大学部 120 人

清水一彦教授(教育学系)が Who's Who(2002 年版)に掲載される



清水一彦教授は、Marquis 版 Who's Who in the World(第 19 版)に掲載されることになりました。この人名録は、世界的に権威のあるもので、それぞれの分野で国際的に貢献度の高い人物を厳選して掲載するものです。

清水一彦教授は、日米の大学制度の比較研究を行っており、精力的な国内外の調査研究活動や韓国・中国での招待講演等が高く評価され、掲載となったものです。

志水勝好講師(農林学系)が日本熱帯農業学会奨励賞を受賞



志水勝好講師は、「アッケシソウ(*Salicornia herbacea* L.)の耐塩性および利用に関する研究」により、平成 13 年度日本熱帯農業学会奨励賞を受賞しました。同賞は熱帯農業に関して優れた業績をあげ、将来の発展が期待されている研究者に授与されるものです。

授賞式は 3 月 30 日の第 89 回日本熱帯農業学会講演会にて行われました。

分析センターから共同利用登録申請のお知らせ

平成 13 年度共同利用希望者の分析機器利用登録申請の受付を行っています。継続登録の方も申請手続きが必要です。センター事務室窓口にある申請書に記入の上、5 月 25 日(金)までに提出願います。

なお、共同利用者については講習会等によって資格を得た人のみに許可されますので、必ず受講してください。講習会の開催日については、登録の際にセンター事務室窓口(2503)へお問い合わせください。

超伝導核磁気共鳴装置 AVANCE600 における固体試料測定用プローブの利用講習会のお知らせ

- 分析センター -

超伝導 NMR 装置 AVANCE600(Bruker)での固体試料測定用の共同利用を希望する本学教職員および大学院生を対象として、利用講習会を開催いたします。受講希望者は、5 月 7 日(月)までに分析センターで受付を済ませてください。なお、本講習会は、AVANCE600 または AVANCE500(Bruker)の溶液プローブでの 1D、2D 測定に習熟していることを前提に行われます。詳細については、分析センター(2503)までお問い合わせください。

定員 5 名程度(1 研究室につき 1 名)

期日 5 月 9 日(水) 9:30 ~ 17:00

場所 分析センター 101 (超伝導 NMR 分析室)

平成14年度日本学術振興会特別研究員の募集について

日本学術振興会では、大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等を対象に、大学その他の研究期間で研究に専念する「特別研究員」の募集を行っています。

ついては、研究指導を行っている大学院学生等に対し、積極的に応募するようご指導願います。

なお、「特別研究員」には、研究奨励金が支給され、また、別途申請により研究費が交付されます。

1. 対象とする分野

人文、社会科学及び自然科学の全分野

2. 応募資格

平成14年4月1日現在、年齢34歳未満(医学、歯学又は獣医学を履修する課程に在学する者及び当該課程を修了した者については年齢36歳未満)で、次のいずれかに該当する者

(1) 特別研究員 DC (大学院博士課程在学者)

平成14年4月1日現在、次のいずれかに該当する大学院博士課程在学者

区分制の博士課程後期第1年次以上の年次に在学する者

一貫制の博士課程第3年次以上の年次に在学する者

後期3年の課程のみの博士課程第1年次以上の年次に在学する者

上記 ~ について・・・応募時点において修士課程に在学する者等で、平成14年4月に博士課程後期等に進学する予定の者は応募資格を有する。

医学、歯学又は獣医学系の博士課程第2年次以上の年次に在学する者

[注]ア 平成14年4月1日現在博士課程に標準修業年限を超えて在学することになる者は、すべて下記(2)に応募すること。

イ 日本国の大学院に在学する外国人は、応募することができる。

(2) 特別研究員 PD (大学院博士課程修了者等)

博士の学位を取得した者(人文、社会科学の分野にあっては、平成14年3月31日までに博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上退学した者で、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者を含む。)

平成14年3月31日までに博士の学位を取得する見込みの者

平成14年4月1日現在博士課程に標準修業年限を超えて在学することになる者

[注]日本国に永住を許可されている外国人は、応募することができる。

3. 採用予定数 約1,340名

4. 採用期間

(1) 特別研究員 - DC

大学院博士課程後期第1年次生(一貫制の博士

課程第3年次生及び医・歯・獣医学系の博士課程第2年次生を含む。)

平成14年4月1日から平成17年3月31日までの3年間

大学院博士課程後期第2年次以上(一貫制の博士課程第4年次生以上及び医・歯・獣医学系の博士課程第3年次生以上の年次に在学する者を含む。)

平成14年4月1日から平成16年3月31日までの2年間

(2) 特別研究員 - PD

平成14年4月1日から平成17年3月31日までの3年間

申請書の請求及び提出先

対応事務区総務・研究協力担当又は学校教育事務部総務課総務係

申請書の提出期限及び詳細については、対応事務区等へお問い合わせください。

職員サークル活動に対する経費の一部補助について

(筑波地区)

福利厚生事業の一環として、職員のサークル活動に対し、活動経費の一部補助を実施しています。

次の要件を満たすサークルが対象となりますので、補助を希望するサークルの代表者は、5月11日(金)までに、必要書類を人事課福祉第一係(2055,2062)に提出してください。

補助の要件

1. 活動内容が健全なスポーツ・娯楽・趣味等であること
2. 活動が継続的・定期的に行われること
3. 誰でも加入できるような性格のサークルであること
4. 経費の大部分が部員による経費で運営されていること
5. 部員数は原則として15名以上であること

提出書類

1. 平成12年度サークル活動状況
2. 平成13年度サークル活動計画書(案)
3. 平成13年度サークル予算(案)
4. 平成13年度サークル構成員名簿(5/1現在)

平成13年度海外研究開発動向調査等に係る派遣研究者の募集

派遣目的

新しい産業の創出につながる科学技術の分野で独創的な研究開発を推進するため、創造性豊かな優れた研究者を養成する目的で研究者の海外派遣を行う。

応募資格

本学に所属する常勤の教授、助教授、講師、助手で、平成13年4月1日現在で45歳以下の者。

派遣機関 平成13年10月1日～平成14年3月31日の
間に出発し、2月以内。
派遣の種類 文部科学省在外研究員の短期在外研究員と
しての扱い。
各学系長、学校教育部長、医療技術短期大学部部長あて
通知をしています。
学内締切 平成13年5月10日(木)
[事務区等は別途設定]
問合せ先 対応事務区等または国際交流課(国際学術)
(6077)

平成14年度日本学術振興会日米科学協力事業

学内締切 平成13年5月18日(金)
[ただし、事務区等は別途設定]
対象分野 地球科学、宇宙科学及び天文学
生物科学及び農学
数学、物理学及び化学
工学
社会・経済科学
申請資格 常勤の研究者
1. 共同研究
要件 平成14年4月1日に開始されるもので研究期
間が2年以内のもの
助成経費 外国旅費、内国旅費、調査研究費として
500万円程度
2. セミナー
要件 平成14年4月1日から平成15年3月31日まで
の間に開始されるもので開催期間が1週間以
内のもの
助成経費 日本開催の場合 内国旅費及び開催経費
として200万円程度
米国開催の場合 外国旅費のほかに内国
旅費等50万円以内
問合せ先 対応事務区、学校教育事務部総務課総務係
又は国際交流課(国際学術)(6077)
詳細については、日本学術振興会ホームページで閲覧で
きます。<http://www.jsps.go.jp/>

文部科学省共済組合共済積立貯金の募集

平成13年度における共済積立貯金(4月期)の新規加入及
び積立金額変更の募集を下記のとおり実施いたします。
詳細については別途パンフレットを配布いたしますので
ご覧ください。
加入資格 共済組合員
積立金額 1,000円単位で自由にできます。
積立の種類 定期積立 給与からの控除による一定額
臨時積立 6月及び12月の期末・勤勉手当
からの控除による一定額
臨時積立のみの申込はできません。
申込期間 平成13年4月3日(火)～平成13年4月20日(金)

申込手続 「貯金加入申込書」「積立金変更申込書」に必
要事項を記入し、捺印のうえ、各共済組合事
務担当係に提出してください。
控除開始 平成13年6月
問合せ先 各部局等の共済組合事務担当係、又は経理課
共済組合係(2152)

文部科学省共済組合団体積立終身保険の募集

平成13年度における団体積立終身保険(4月期)の新規加
入及び変更の募集を下記のとおり実施いたします。
詳細については別途配布いたしますパンフレットをご覧
ください。

脱退時の給付内容

Aコース 年金受取
一時金受取
Bコース 年金コース
終身保険コース
医療プランコース
一時金コース

申込期間 平成13年4月3日(火)～平成13年4月20日(金)
申込手続 「加入(増口)申込書」「減口通知書」に必要
事項を記入し、捺印のうえ、各共済組合事
務担当係に提出してください。
控除開始 平成13年6月期末・勤勉手当
平成13年7月俸給
問合せ先 各部局等の共済組合事務担当係、又は経理課
共済組合係(2152)

TULIPS オリエンテーション

図書館のホームページの利用法はご存じですか?
附属図書館では筑波大学電子図書館を運用し、さまざま
な情報提供サービスをしています。TULIPS オリエン
テーションでは、主にWWW版OPAC(蔵書検索シス
テム)とOnline Journalについて説明と検索実習を行
います。

日時・場所

中央図書館 グループ視聴室及び
コンピュータ利用室(新館2階)

4月26日(木)

5月7日(月)、9日(水)、11日(金)

体芸図書館 情報検索コーナー(2階)

4月23日(月)～25日(水)

5月9日(水)～11日(金)

医学図書館 レファレンスデスク(1階)

4月27日(金)、5月8日(火)

各 15:30～16:30

内容 説明と検索実習

定員 各回10名

申込先 医学図書館レファレンスデスク

文献の探し方オリエンテーション

論文作成を控えた学群生や大学院生の皆さん、文献の収集にお困りではありませんか。図書館には、欲しい文献を的確にキャッチするためのいろいろな資料があります。それらの利用法について、以下のとおり説明会を行います。文献検索のテクニックを身につけたい方、ご参加お待ちしております。

日時 日程は内容を参照 各 15:30 ~ 16:30

場所 中央図書館 グループ視聴室
及びコンピュータ利用室(新館2階)

(5月中旬から始まります)

体芸図書館 情報検索コーナー(2階)

(5月中旬から始まります)

医学図書館 レファレンスデスク(1階)

定員 各回10名

申込先 各図書館レファレンスデスク

内容

医学図書館

Medline 4月26日(木)

5月7日(月), 11日(金)

CINAHL 5月9日(水)

平成13年度筑波大学山中研修所・館山研修所の夏季利用について

例年上記研修所の夏季期間は、利用者が多く混雑しますので、平成13年度(下記期間)は次のように予約等を受け付けます。

期間 平成13年7月1日(日)~8月31日(金)

所在地等

山中共同研修所

山梨県南都留郡山中湖村平野479番地(山中湖畔)

定員 学生64名 教職員12名

館山研修所

千葉県館山市北条2307番地(北条海岸)

定員 学生40名 教職員13名

予約受付

利用者区分ごとに下記のとおり予約を受け付けます。

大学の行事及び授業等特別利用者を除き、予約は1団体1回、5泊6日以内とします。

他の利用者に迷惑がかかるような、キャンセル・大幅な人数の変更が生じないように予約してください。

大学の行事及び授業等特別利用者の場合

別に定める「特別利用願」を平成13年5月18日(金)までに学群長等の責任者名で提出してください。

用紙は学生課(研修施設)及び学校教育事務部総務課に用意してあります。

教職員利用者の場合

特別利用者の予約受付終了後、結果を公表したうえで、次のとおり先着順に予約を受け付けます。

ア．特別利用者予約状況公表

日時 平成13年5月25日(金) 9:00 ~

場所 学生部掲示板(本部棟2階玄関付近)

注意 利用可能日を確認してください。

イ．予約受付

日時 平成13年6月4日(月) 9:00 ~

利用開始予定日の1か月前(1か月前が土・日曜日、祝祭日にあたる場合はその前日)から受け付けます。

場所 学生課(研修施設)(本部棟2階)

利用許可申請手続

予約のとれた者は、利用日の10日前までに「利用願・利用者名簿・食事申込書」に運営費等(食事料金を除く)を添えて、学生課(研修施設)で手続きを完了してください。但し、利用日の10日前が土・日曜日、祝祭日にあたる場合はその前日までに手続きをしてください。(期限厳守) なお、研修所では予約も含め受付をしていないので注意してください。

各手続書類は学生課(研修施設)及び学校教育事務部総務課にあります。

その他

- (1) 電話による予約の受付は行いません。
- (2) 上記期間以外の期間の予約受付は従来どおりとなります。
- (3) 詳細については、学生課(研修施設)[2250]にお問い合わせください。

スポーツ施設(ジョイフルアスレティッククラブ土浦、同クラブ守谷)の利用 (筑波地区)

今年度も職員及びその家族(共済組合員及び組合員の被扶養者)のための福利厚生施設の拡充及び心身の健康増進のために、ジョイフルアスレティッククラブ(土浦、守谷)と施設利用に関して、次のとおり契約を締結したので、大いに利用してください。

利用期間 平成14年3月31日(日)まで

利用人数 年間利用人数枠 600名

利用手続 メインフロントで「筑波大学職員証」又は「文部科学省共済組合員証」を提示し、名簿に記帳の上、施設利用料を支払う。

利用できる施設 スイミングプール、ランニングトラック、アウトドアテニスコート、トレーニングジム、エアロビクススタジオ、ラケットボールコートほか

利用料 1回利用につき1,050円

その他 (1)「筑波大学職員証」又は「文部科学省共済組合員証」の提示がない場合は、いかなる場合でも利用できません。

(2) 中学3年生までは、スイミングプールのみ利用です。

利用料は、525円で、小学校入学前までは無料です。

(3) 家族(共済組合員の被扶養者に限る。)が

利用する場合は、「文部科学省共済組合員証」を持参してください。

問合せ先 人事課福祉第一係(2055, 2062)

教職員合気道同好会会員募集のお知らせ

毎週火曜日、昼12:15～13:00に、格技体育館1階第2多目的室で練習しています。

合気道は、体重や身長、力で強弱が決まるものではありません。体力にあわせた無理の無い練習により上達できる、性別・年齢に関係ない、生涯続けることのできる武道です。また、大きな特徴として、試合がありませんので自分のペースで上達することができます。

ほぼ全員初級者ですが、昨年は師範を招いての勉強会も実施しました。

興味のある方、経験者で再び練習を始めたいと考えている方、ご連絡ください。

問合せ 病院部管理課 柏村(3537)

tkashiwamura@sec.tsukuba.ac.jp

平成13年度新任教員オリエンテーション



「筑波大学のさらなる発展のために」を説明する北原学長

平成13年度新任教員オリエンテーションが、4月4日(水)10:00から、各事務区等会議室において、学群、学類、研究科等の概要等について説明が行われ、午後からは、大学会館国際会議室において、学長、副学長、事務局長等から、本学の将来像、本学の組織及び運営等について説明が行われました。このオリエンテーションは、本学の組織及び運営の特徴について理解を深めてもらうことを目的として毎年開催しているもので、今回は、平成12年4月3日以降新たに就任した教員を対象として、例年よりも大幅に時間をとり、内容を充実して開催されました。約100名の教員の出席があり、オリエンテーション終了後、大学会館レストランプラザにおいて、懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で、学長・副学長ら大学の幹部教職員と新任教員との間で懇談が行われ、盛会のうちに閉会しました。

大学研究センター第36回公開研究会開催



大学研究センター第36回公開研究会

大学研究センターの第36回公開研究会が、大塚地区の学校教育部G204教室において3月26日(月)に開催されました。大学をめぐる諸環境が激動するなか、大学の管理運営・経営におけるアドミニストレータの大きな役割が期待される中で、大学研究センターでは、昨年2回に渡って「大学経営人材養成のための短期集中公開研究会」を実施しており、その経験を踏まえ、今回は「大学アドミニストレータの新たな役割」をテーマとする公開研究会を設定しました。

研究会では孫福弘(慶応義塾大学塾監局長)、山本眞一(筑波大学大学研究センター長)、久賀重雄(一橋大学事務局長)、椎貝博美(山梨大学長)の4名の講師による講演をいただきました。

研究会には、潮木守一(武蔵野女子大学教授)、黒羽亮一(常磐大学教授)、太田和良幸(愛知教育大学事務局長)、中津井泉(リクルートリサーチ)の各氏や本学の桑原副学長、濱口副学長、岩崎企画調査室長など学内外から約80名が参加し、大学アドミニストレータの新たな役割と課題、国立大学事務局の抱える課題、大学におけるリーダーシップの在り方などさまざまな論点から活発な議論が交わされました。

研究会終了後には懇親会が開かれ、熱気につつまれた中で活発な議論や情報交換が行われました。

医療関係委員会

3月14日(水)の第150回会議では●附属病院の経営状況について、診療費用請求額、患者診療経費執行額、医療費率及び病床稼働率について報告があった。●医療事故に伴う改善措置について報告があった。●筑波大学脳死判定基準及び脳死判定実施要領の一部改正について了承された。●筑波大学医の倫理特別委員会規程の適用に関する申合せの一部改正について了承された。●筑波大学附属病院脳死判定委員会細則の一部改正について報告があった。●第136回筑波大学医の倫理特別委員会の審査結果について報告があった。



本部棟横の枝垂桜

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回(通巻1009号)の発行は5月9日(水)、
原稿締切りは4月26日(木)となります。

「速報つくば」への寄稿に際しましては、一行25文字(英
字・数字は半角)で原稿作成してください。

学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記
事も募集しています。

なお、お寄せ頂いた原稿は、Web上でPDFにして掲載
しますので、ご了承願います。また、「速報つくば」の
PDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/dAbout/booklets2.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は
広報・公開室(TEL 2041, FAX 2014)へお願いします。

e-mail: vision@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

『ティモシー・R・パーソンズ博士筑波大学名誉博士称号 授与式及び記念講演会』について

ティモシー・R・パーソンズ博士（ブリティッシュコロンビア大学名誉教授）は、海洋と陸水に係わる生物学分野における国際的権威で、昭和56、63年度に外国人講師、平成6年度には外国人特別招へい教授として来学し、本学における海洋生物学の教育・研究に積極的に貢献されました。このことにより、筑波大学名誉博士称号が授与されることとなったものです。

この度、科学技術分野において独創的、飛躍的な成果をあげた研究者に授与される国際科学技術財団の2001年日本国際賞を受賞され、4月下旬、授賞式に来日され、その後本学にお立ち寄りになられる機会を得ましたので、下記のとおり筑波大学名誉博士称号授与式及び記念講演会を開催することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 日 時

平成13年5月1日（火）13時15分～14時40分

2. 場 所

第二学群H棟101号室

3. 次 第

- (1) 筑波大学名誉博士称号授与式
- (2) 記念講演会

学長挨拶

記念講演＝演題:「沿岸域の環境管理は如何にあるべきか」(英語)

4. 対 象

教職員・学群及び大学院学生

Conferment of Honorary Degree of Doctor of Science
and Memorial Lecture by
Dr. Timothy R. Parsons
Professor Emeritus, University of British Columbia

The University of Tsukuba will confer an honorary degree of Doctor of Science on Dr. Timothy R. Parsons (Professor Emeritus, University of British Columbia), a noted international authority in the field of biological oceanography and freshwater environment studies. In 1981 and 1986, Dr. Parsons spent some months at the University of Tsukuba as a visiting foreign lecturer and returned to the University of Tsukuba in 1994 as a *distinguished visiting professor*. During his time at the University of Tsukuba, he enthusiastically made great contributions to education and research in biological oceanography, for which he will receive an honorary degree of Doctor of Science from the University of Tsukuba.

Dr. Parsons is this year's recipient of the Japan Prize from the Science and Technology Foundation of Japan (JSTF) for his original and ground-breaking results in his field. After attending the JSTF award ceremony in late April, Dr. Parsons will visit the University of Tsukuba, at which time he will be awarded an honorary degree of Doctor of Science from the University of Tsukuba and give a special commemorative lecture. Further information regarding the date and time of the ceremony and the lecture is provided below.

Date and Time	1 May 2001 (Tuesday) 13:15 to 14:40
Place	Second Cluster of Colleges Building "H", Room 101
Program	<ol style="list-style-type: none">1. Conferment of honorary degree of Doctor of Science from the University of Tsukuba2. Greetings from the President of the University of Tsukuba3. Special lecture by Dr. Parsons entitled "Coastal Management: An Oceanographic Perspective" (in English)
Attendees	All faculty, administrative staff, and students are invited to attend.